

団体名		公益財団法人武蔵野市国際交流協会				
①	指標名	在住外国人支援事業への外国人市民参加促進			目標値	外国人支援事業への外国人の参加者拡大 (対前年度増)
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 人)	857	962	1,050	MIA外国人支援事業にかかる外国人の延べ参加者数	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し		
	設定理由等	外国人市民が増加傾向にあることや出身国籍の多様化により、対応言語や相談内容にも変化が表れている。ニーズに応え参加者を拡大することで、多文化への理解を深め、支援内容のさらなる強化につなげるため。				
業	取組	①MIAの存在及び役割の認知度を高め、外国人にとってアクセスしやすい環境を整備する。 ⇒協会主催イベントだけでなく「食育フェスタ」「桜まつり」等、外部イベントに外国人会員にも参加してもらうことでMIA事業の広報を行う。 ②ことばの壁により、MIAの存在に気づかない外国人も少なくないため、外国人が利用する様々な施設やサービスの窓口アウトリーチを行うなど周知に努める。 ⇒専門分野の団体、地域とも積極的に連携し既存の社会資源に多文化対応を盛り込んでいく。例) 児童施設と外国人市民の親子をつなげる試み。				
	内容					
②	指標名	会費収入の確保			目標値	会費収入の確保 (対前年度増)
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 千円)	969	955	1,001	新規入会だけでなく、コロナ5類に伴い活動を再開する会員が戻って来ている。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化		
	設定理由等	①公益性が極めて高い事業を行っており、自主財源確保の手段は限られているが、財政援助出資団体としてできる限り自主性が高められるよう、会員数の増加とそれに伴う会費収入増加に向けて努力する。 ②協会活動の理解者を増やし、会員の増加につなげていく活動が、多文化共生の推進に寄与するものと考えられるため。				
務	取組	MIAの活動に対する賛同、理解を市民から得られるよう、積極的に効果的な広報を行うことで、会費収入や協力者を獲得するよう努める。				
	内容					
③	指標名	MIA事業へのボランティアの参加促進			目標値	ボランティア登録者数の拡大 (対前年度増)
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 人)	253	253	280	語学ボランティア、日本語交流員、留学生ファミリーの合計	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	MIAの事業は、会員ボランティアが運営を担っており、職員はそのコーディネートを行っている。限られた職員数で充実した事業を行うためには多様なボランティア人材の活用が必要なため。				
部	取組					
	内容	コロナ禍の収束を受けボランティア活動への関心が再度高まっており、従前の「むさしの国際交流まつり」の経験を踏まえたイベントなどを開催することで活躍の場を広めていく。				
管	取組					
	内容					